











1 安全に関する注意事項

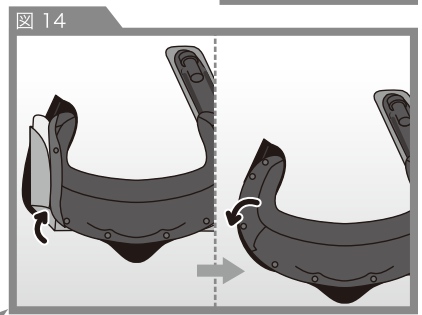
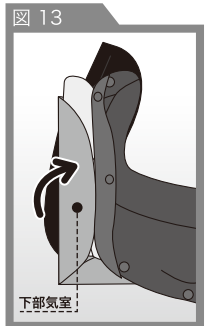
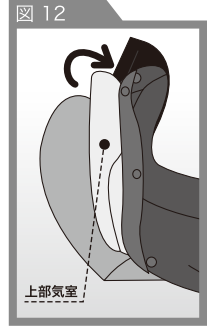
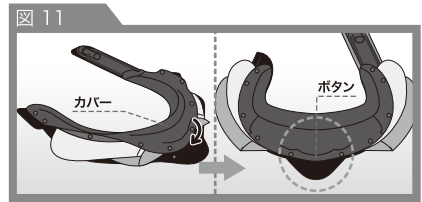
本誌(取扱説明書)は、ヒットエア(衝撃緩和保護システム)付ジャケットを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管(バイク内等)して下さい。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

警告  この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 警告**  1. 首部ヒットエアシステムは、バイクに乗車の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。
- 警告**  2. 首部ヒットエアシステムは必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。
レインウェア着用の際にも、レインウェアを着用した上に、ヒットエアを着用して下さい。
- 警告**  3. 使用済のカートリッジポンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ(容量)のカートリッジポンベを使用して下さい。封板(底部/ネジ部先端)に穴が開いていないことを確認してご使用ください。
- 警告**  4. 首部ヒットエアシステム内蔵のパーツを分解しないで下さい。
- 注意**  5. 首部ヒットエアシステムを着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物を入れないで下さい、着用前には必ず取り外して下さい。
(例:ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等)作動時及び、作動後にも気室(エアバッグ)を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。
- 注意**  6. 首部ヒットエアシステム取扱時は、火気厳禁にして下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、炭酸ガスポンベを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40°C以下での使用に限りです。高温になると破裂の危険があります。
- 注意**  7. ワンタッチリリース(コネクター)をはずすのを忘れてバイクから降りると、引っ張られた伸縮ワイヤーによってバイクが転倒する危険性がありますので、必ず、バイクに股がかった状態でワンタッチリリース(コネクター)をはずして降車して下さい。
- 注意**  8. 着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

- 11. カバー背面中央部のボタンを留め、上下気室中央部分を収納します。(図11)
 - 12. ポンベの反対側の上部気室を内側にたたみます。(図12)
 - 13. 下部気室と合わせて内側にたたみます。(図13)
 - 14. カバーからはみ出した気室を内側に折込みながらボタンを留めて収納します。(図14)
- 注意**  上下気室を重ねて丸め込んだ状態で収納しないで下さい。重ねて丸め込んだ状態で収納すると、正常に作動しない恐れがあります。



 **重ねて丸め込んだ状態はダメ。**

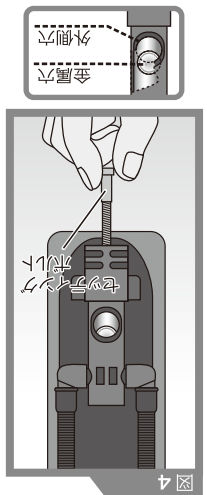
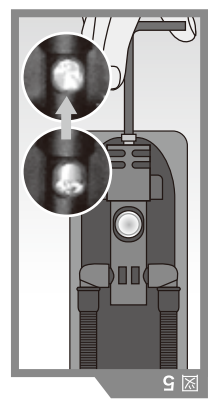
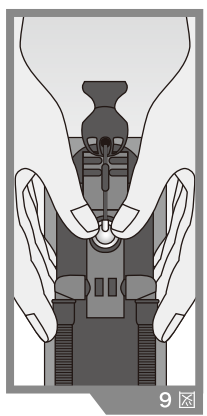
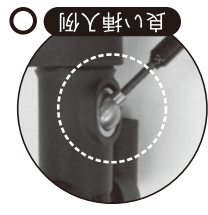
次ページへ

5

22

20

7



- 4. キーボックスにセッティングボルトを差し込みます(図4)
- 5. 六角レンチでキーホルダーの穴が中心にくるよう調節します(図5)
- 6. キーホルダーをセットします(図6)

首部ヒットエア(衝撃緩和保護)システムは、バイク乗用の際、上衣として着用します。転倒、衝突などによってライダーがバイクから一定の距離(※1)離れた瞬間に、キーホルダーが抜け、ヒットエアに組み込まれたキーボックスが作動して、カートリッジポンベより炭酸ガスが気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになっています。その膨張した気室が、人体と外部の接触物の間に入り、衝撃を緩和する仕組となっています。このような特性を持つ人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。

「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するということではありません」

キーホルダーは、簡単に抜けにくい仕組みになっており(※4-3 キーボックス(P12)参照)走行時に予想される、ライダーの姿勢変化などの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。

※1)一定の距離とは、首部ヒットエアシステムを着用し、ワンタッチコネクターを接続してバイクに乗った状態で、バイクに固定されている伸縮ワイヤーが何の障害(※2)もなく伸びきった状態の距離をいいます。方向は前後左右を問わず同じ距離です。

※2)障害とは、首部ヒットエアシステムを着用し、ワンタッチコネクターを接続してバイクに乗った状態で、伸縮ワイヤーに障害物(車両、荷物、その他)などか触れたから伸びきった状態、これらの場合、一定の距離に至らなくとも作動する事があります。

